

愛物 漢物 消物品

明治三十九年一月二十日發行

中華書局新志

第貳百貳拾五號

第一二二五號目次

◎何を調査し何を計畫し又いかに活動しつゝあるや二五頁

雨降りの仕事
學校と家庭との連絡
西春日井郡兒童調查

寺部學校概況報告

碧海郡通信

東京府荏原郡より

◎何を學ぶべきか如何に研究すべきか三五頁

倫理學研究に就いて 研究道人 全一頁

◎訪問錄 三六頁

◎趣味ある文字に接せしめよ 三九頁

第三師團凱旋軍歌

◎新刊紹介 四〇頁

◎校舎校地の利用法 四二頁

◎現今讀むべき記事は何なるか 四七頁

國民の愛馬心

小學校庭園の設置に就いて

◎廣告 五五頁

◎叙任辭令

教育者と安心
余が爲したる教育調査

何事を望み何事を主張せんとするか三
貧民教育に就いて 浅井松峯君

何事を研究し何事を實驗せんか 一〇頁
綴方教授の實際 小林佐源次君

國定算術書取扱法 中根政次郎君

兒童修身書取扱法 尾村丈太郎君

童謡に就いて 太田邦之助君

何を爲したるか何を考へたるか 二〇頁

余が爲したる老人會

余が獨得日誌記載法

余が觀察する一珍事

教育者と安心

余が爲したる教育調査

(明治二十六年三月二十日) 第三種郵便物認可 每月一回二十日發行

明治三十九年二月二十日發行

支那の政治

第貳百貳拾六號

第二百一十六號目次

東春日井郡瀬戸町教育會發開式

◎何を爲したるか、何を考へたるか……二十三頁

師附參觀談

多加森尋常小學校

◎東宮殿下の御高德

一頁

◎何事を望み何事を主張せんとするか二

頁

◎何事を望み何事を主張せんとするか二面の教育主義

頁

✓ 今のが特に採るべき二面の教育主義

批判授業

✓ 郡青年團を組織せよ

樺澤常人君

尊敬せる教壇よ

✓ 練習教授の實際

浅井穂峯君

本縣教育會主催農業實驗實習講習會概況

◎何事を研究し、何事を實驗せしが……八頁

小林佐源次君

◎何を學ぶべきか、如何に研究すべきか……三十頁

✓ 國定算術書取扱法

中根政次郎君

◎何を調査し、何を計劃し、又いかに活動しつゝあるか……十五頁

✓ 雪のうた

西鵬深田千年君

◎國語漢文應試に就いて

✓ 學校と家庭との連絡

丹羽郡柏森小學校

◎新刊紹介

四十頁

✓ 南設樂郡教育會の傳習會

全頁

◎叙任辭令

三十二頁

碧海郡通信

(明治二十六年三月三十日第三種郵便物認可) 每月一回二十日發行

明治三十九年三月二十日發行

支那文庫

第貳百貳拾七號

第二百一十七號目次

雨日の遊び
机間体操

◎何事を望み、何事を主張せんとするか……

余が眼は何處へつくか
三年間の歴史

戦病死者遺族に對して教育者は注意するの要なきか

有効山房隅錄
農業實驗實習講習會概況

教育者よ一意修養せよ

◎何を學ぶべきか、如何に研究すべきか……

◎何事を研究し、何事を實驗せしか五頁

教育學研究に就いて

綴方教授の實際
國定算術書取扱法

◎訪問錄（其一）五十九頁

◎何を調査しを何計劃し又いかに活動しつゝありや

十六頁
◎新刊書籍雜誌紹介六十二頁

新著紹介

八名南
北設樂三郡聯合教育會の概況
家庭と學校との連絡

四十五頁
◎兒童貯金の良法並に規定（回答）六十六頁

◎雑報

特別講習科講習要項等

◎何を爲したるか、何を考へたるか四十八頁
音の計算

◎廣告

(明治二十六年三月二十一日第一種郵便物認可) 每月一回二十日發行。

明治三十九年四月二十日發行

支那詩歌

第貳百貳拾八號

第二百一十八號目次

何事を研究せしか：二　頁

(小林佐源治)

余が考へたる發音上のこと
余が爲さしめたる遊戯
大きい人物
學校生徒の義捐金に於て
修學旅行

○何事を研究し、

何事を實驗せしか：二　頁

(中根政次郎)

✓綴方教授の實際

國定算術書取扱法

(中根政次郎)

✓算術科の成績不良なる原因及び其改良案(戸河里長光)

✓漢式用修身科教授綱目(木村仁止)

✓中村丹羽郡視學講演(櫻井候)

✓三浦師範學校長講話

枝本縣二部長講話

三浦師範學校長講話

父兄懇談會概況

家庭と學校との連絡

三河全國高等小學校長會

丹羽郡、葉栗郡、碧海郡通信

○何を爲したるか何を考へたるか：四十六頁

✓單級教授に於ける壁問答

✓算術科と理科との專任にした

✓讀本唱歌の選擇

余が爲しつゝある氏神參拜

○何を計劃し、いかに活動しつ

ありや：二十二頁

反古集穂

枝本農林學校長講話大要

山崎農林學校長講話

○訪問錄(其二)五十七頁

○新刊書籍雜誌紹介六十頁

教育雜誌

新著紹介

簡易生活を讀む

アナクレオンを讀む

○自家獨得の人生觀六十二頁

○雜報六十七頁

本會代議員會講事錄

東北凶作物發捐金報告八十五頁

○叙任辭令

○廣告

(明治二十六年三月二十一日第三種郵便物認可) 每月一回二十日發行

明治三十九年五月二十八日發行

支那の政治

第貳百貳拾九號

第二百一十九號目次

- ◎ 何を學ぶべきかいかに研究すべきか三十七頁
✓ 國定修身書例話取調書に就いて
- ◎ 器具器械標本表簿の研究 三十九頁
✓ 觀察錄規定及記入簿 (寶飯郡牛久保學校)
- ◎ 何事を研究し何事を實驗せしか 四頁
✓ 練方教授の實際
- ◎ 國定算術書取扱法 一頁
✓ 算術科の成績不良なる原因及其改良案 戸河里長光君
- ✓ 新式小學校休操法に就て 阪柳梅太郎君
- ✓ 發音教授について 川島琴溪君
- ✓ 刑罰法 尾村丈太郎君
- ✓ 讀み様 大澤鶴三君
- ◎ 何を調査し何を計劃し又いかに活動 二十一頁
しつゝあるか :
- ✓ 實業思想養成方法調査書 (丹羽郡) 東京高等師範學校卒業式に於ける嘉納校長の告辭
- 誰でもキット見る教授細目 戰後教育施設實施方法につき木縣第二部長よりの通牒
- 葉栗郡黒田小學校訓練の實際 第一回全國小學校教員會狀況
- 寶飯郡鹽津父兄懇話會 東北凶歉地小學校兒童救恤金品の挨拶及領收證
- 中村郡視學講演 こども展覽會を見る
- ✓ 講義及演說 堀田第一師範學校教諭
- 補習教育に就いて 壯丁教育程度表
- 馬場榮三郎君傳記
- ◎ 東北凶歉地地方小學校就學貧困兒童救濟義金 七十三頁
◎ 叙任辭令 七十五頁
◎ 廣告

(明治三十六年三月二十一日第三種郵便物認可) 每月一回二十日發行

明治三十九年六月二十日發行

支那文庫志

第貳百參拾號

第二百三十號目次

◎文部大臣の訓令	一頁
◎文部大臣の訓令を讀む：水谷清稿	二頁
◎何事を研究し何事を實驗せしか	四頁
✓綴方教授の實際	小林佐源治君
✓國定算術書取扱法	車根政次郎君
✓算術科の成績不良なる原因及改良案	戸河里長光君
✓新式小學校体操に就いて	阪柳梅太郎君
✓歷史科教授案	内山 新君
✓國定地理教科書の訂正	宮地 錦吉君
◎何を爲したるか。何を考へたるか	二十二頁
✓余が作製したる村落史の内容	宮野勇太郎君
✓余が爲してある方音及方言の矯正	
✓余が注意せんとする夏時衛生	
✓余が欲する備品の整頓法	
✓余が爲しつゝある教室の出入	
✓運動會に就いて	
◎廣 告	
◎何を調査し何を計劃し、またいかに活動しつゝあるか。	二十七頁
東加茂郡通信	碧海郡黒田尋常小學校報
西加茂郡教育組合第二部落授業所研究會	三十九頁
◎器具器械標本表簿の研究	三十九頁
観察録規定及記入簿	
◎訪問錄	反古集
◎本學年に入りてより新に着手せし事	四十五頁
いわに新聞を讀むべき	
◎業（回答）	四十七頁
◎實業補習學校の施設（回答）	
◎新刊書籍雑誌紹介	五十三頁
◎雜錄	五十六頁
五七籠城記	五十八頁
三重縣に於ける展覽會	
東北凶歎地小學校	
講習會一束	
◎叙任辭令	六十五頁

(明治二十六年第三種郵便物認可) 每月一回二十日發行

明治三十九年七月二十日發行

支那文庫

第貳百參拾壹號

第二百二十一號目次

◎何を爲したるか、何を考へたるか……一

頁

✓余が爲しつゝある誤字矯正
✓余が爲しつゝある批行術
✓余が希望する參觀人取扱

✓生徒をして爲さしむる參觀人取扱

✓余が爲しつゝある食事監督

✓余が爲さしめつゝある鼻汁掃除

✓余が爲さしめつゝある教具の出入展列

我校にて爲さしめつゝある校内外の大掃除

小成とは何ぞや

余は不面目に思ふ

◎何事を研究し何事を實驗せしか……九

頁

✓綴方敎授の實際
✓國定算術書取扱法

小林佐源治君
中根政次郎君
戸河里長光君

✓算術科の不良なる原因及其改良法
✓新式小學校休操について
✓郷土科教授の實際

阪柳梅太郎君
橋村徳一君
瀧本和三郎君

✓國語綴方敎授の實際
✓唱歌教授に於ける半見
✓小學地理卷三韓國風俗圖解

早川千代子君
逸君

◎訪問錄………
いかに新聞を讀むべきか（承前）
佐藤保祐君の談話

三二頁

◎廣告………
美はしき家庭
鶴仙金三郎君

◎何事を計畫し何事を施行せしか……三六頁
學校園の計畫と經營とに關する一二の卓見
碧海郡第三部會報
第二回特別講習會概況

◎器具器械標本表簿の研究………四六頁
渥美郡福江學校の通告簿

◎新刊書籍雑誌紹介………四八頁

◎何を讀むべきか、いかに研究すべき
か………四九頁

文部擬定教育科受驗者勉學法
美的趣味の養成
暑期學生の讀物

◎雜錄………
五一页

本會夏期講習會
同上講習員心得
教授時間割に關する件

馬場榮三郎氏招待會
宮城縣小學校兒童救濟施捐金報告

男女交際について
最新案の計數器

遺子教育資金募集

(明治二十六年三月一日第三種郵便物認可) 每月一回二十日發行

明治三十九年八月二十日發行

支那文庫

第貳百參拾貳號

第二百三十二號目次

- | | |
|--------------|-------------|
| ○教授器械掛圖類に就いて | 一
頁 |
| ○實驗瑣談 | 六
頁 |
| 経験の結果 | |
| 辨當問題 | |
| 座弁の排除 | |
| 何事を爲したる | |
| ○銷夏錄 | 一
六
頁 |
| ○トランポーム豫防歌 | 二
二
頁 |
| ○風教美談募集に就いて | 二
六
頁 |
| ○雑報 | 三
一
頁 |
| 丹羽郡教育會所感 | |
| 西春日井郡通信 | |
| 丹羽郡教育會總會 | |
| 碧海郡通信 | |
| 郡市分離紀念のために | |
| ○廣告 | 六
三
頁 |
| ○叙任辭令 | |

▲海外に出でよ(松村介石) 行くべし行くべし海外に行くべし米國に行くべし實に是れ當に縊首者と不公平者とを救ふの道たるものにあらず實に目下我國を救ふの捷徑なり予は青年の自殺者に同情なきものにあらず其心情の憐れむべきものあるを知るものなり又不平家を憚視するものにもあらず凡そ今日の世に處して不平なきものは皆も抑々亦た無神經の徒輩のみ而かも自殺者の如きは畢竟浮世の波濤を凌ぐ能はざる弱虫のみ又彼れ天下に大不平あるものなり雖ども而も徒らに人の寶を數へて不平を述べ人の馬車を眺めて不服を鳴らすものゝ如きは畢竟横盤の逆境に處して苦しげなる泡沫を吐くと一般到底吾人の同志者と爲すに足らざるもの否配下と爲すにも足らざるもの而して此等を醫するの道は大策を説て後日を待たしむべきにあらず口頭の説諭は最早や彼等を服せしむるに足らず只だ之を海外に送る一法あるのみ(電報)

(明治二十六年三月二十一日第三種郵便物認可) 每月一回二十日發行

明治三十九年九月二十日發行

支那の音楽

第貳百參拾參號

第二百三十三號目次

- | | |
|-----------------------|-----|
| ◎教授管理 | 四二頁 |
| 国定算術書取扱 | |
| 算術科成績不良の原因及其改良案 | |
| ◎校務世務 | 五〇頁 |
| 職員會の模様 | |
| 村教育會について | |
| 摸範學校の紹介について | |
| ◎雑報 | |
| 坂會長の辭退 | |
| 師範同懇會摸様 | |
| 丹羽郡通信 | |
| 岡崎講習會概報 | |
| 重量超過の爲め遺憾なが
ら次號に廻す | |
| ◎我聞我觀 | |
| 経験の結果(二) | |
| 卒業生檢閱點呼 | |
| 講習會廻り | |
| ◎廣告 | |
| 三五頁 | |

(明治二十六年十一月三日) 第三郵便物認可 每月一回二十日發行

明治三十九年十月二十日發行

支那文庫

第貳百參拾四號

第二百三十四號目次

- 案規に關する研究に就いて 一頁
- 教育頃談 七頁
- △自由主義の參觀 △中心學科
- △趣味の教育 △劣等生取扱
- △實地世話の模 △日待講へ出立
- △雜感 △青年俱樂部
- 燈火可親 一四頁
- 案務世務 一九頁
- △村落教育會 △職員會模様
- △トランプ治療 二一頁
- 教授訓練 二一頁
- △綴方教授の實際 △國定算術書資料
- △新らしき地理 二一頁
- 内外思潮 三八頁
- △世界的經濟擴張に對し教育は如何に準備すべきか 三八頁
- 新刊書籍雑誌紹介 四三頁
- 雜錄 四六頁
- △坂會長辭退 △丹羽郡通信
- △葉栗郡通信 △壯丁教育成績調査
- 叙任辭令 五五頁
- 廣告 五六頁

運動會の報告を望む

運動會の好時季とはなれり。縣下幾百の小學校、各々思ひ思ひに舉行せらるる所の運動會、果して何等の意義に於て爲され、何等の計畫に因つて準備せられ、何等の形式何等の組織何等の現象を以てか發表せられ。將た豫期の結果や何にその成績や何に。聽かまほしく。研究しても見たし。運動會記事冗長を要せず修飾を要せず。簡潔にして前述の要領を得たる報告の續々到らん事を渴望す。

(天)

(明治二十六年三月二十一日第三種郵便物認可) 每月一回二十日發行

明治三十九年十一月二十日發行

支那風流詩

第貳百參拾五號

236号

欠号